

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 5 日現在

機関番号：10103

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2016

課題番号：26370523

研究課題名(和文) 渡島半島東岸部と西岸部における伝統的な漁業関連方言語彙の比較調査

研究課題名(英文) A Comparative Study on Fishery Dialect Words between the Eastern Coast and the Western Coast in the Oshima Peninsula

研究代表者

橋本 邦彦 (HASHIMOTO, Kunihiko)

室蘭工業大学・工学研究科・教授

研究者番号：80156281

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,500,000円

研究成果の概要(和文)： 渡島半島西岸部せたな町に3回、東岸部旧榎法華村に2回の合計5回にわたる現地調査を通して、それぞれ地元の調査協力者から、漁具、漁法、魚加工、魚名称、風や潮流、伝統行事に関連した特有の漁業方言語彙を収集した。これらの語彙を比較の視点から分類・整理し、使用状況、意味・用法を中心にできるだけ詳細に分析し、説明を施した。この比較により、渡島半島の両側で用いられていた、あるいは用いられている語彙の共通点と相違点が浮き彫りにされ、その背後で働く生態的要因、社会的要因、言語的要因の三つの要因が相互に作用し合って、方言語彙を生み出していく事実を解明した。

研究成果の概要(英文)： We conducted fieldwork in Todohokke and Setana in the Oshima Peninsula five times in order to collect dialectal words related to traditional fishery. These words were analyzed according to the following purposes: 1) To classify them into two types of "Used" and "Not Used" by the interviewees; 2) To describe their meanings, usages and background information as in detail as possible referring to references to note; 3) To specify similarities and differences of their forms, meanings, referents and ways of use, comparing the words of Todohokke, an area on the east coast, with those of Setana, a town on the west coast.

The comparison study demonstrated that ecologically-conditioned, socially-conditioned and linguistically-conditioned factors, interacting with one another, produce similarities and differences in word forms/meanings between the two regions.

研究分野：言語学

 キーワード： 漁業関連方言語彙 比較方言学 生態的 渡島半島西岸部 渡島半島東岸部 魚名方言語彙 社会的  
言語的

#### 1. 研究開始当初の背景

(1) 北海道渡島半島海岸部の方言に関しては、従来、音韻、アクセント、語彙、文法、使用域等についての記述言語的、社会言語的観点に立った研究はあったが、東岸部方言と西岸部方言の地域間の比較の視点からの研究は皆無に近い状態であった。

(2) 両地域の基幹産業である漁業に特化した形での体系的な方言語彙研究もほとんど手つかずの状況であった。

(3) この種の調査・研究には、地理的条件、漁獲される魚種、漁法等の漁業を取り巻く様々な要因を考慮に入れての、語彙 事物・事象 営みの三位一体の視点が必要不可欠であるが、これも未開拓の状態であった。

(4) 平成23年度～25年度科学研究費補助金「旧榎法華村における伝統的漁業・造船に関する語彙調査」(課題番号:23520540 基盤(C))で実施した調査・研究を通して、地域によって同じ語彙が異なる意味を表す場合がある、地域によって使用されない語彙が存在する、地域によって同じ事態が異なる語彙によって表される場合がある、世代により用いられなくなった語彙や完全に失われてしまった語彙が存在する、の4点が明らかになった。これらの解明項目をを裏付けるためには、一つの地域に限定するのではなく、同じ環境で地理的に連続する隣接地域同士での方言の比較調査が必要となった。

#### 2. 研究の目的

(1) 北海道南部に位置する渡島半島東岸部と西岸部で漁獲される魚種、漁法・漁船の変遷、魚の加工や伝統行事、地理的条件・潮流・風などの環境的要因から、両地域で用いられてきた漁業関連方言語彙の共通点と相違点を明らかにする。

(2) 比較の観点から、共通性および相違性を生じさせる要因や方言語彙を生成するメカニズムの解明を試みる。

(3) 収集した方言語彙の音声、意味、用法等を分類整理し、語彙の指示する事物や事象を記録・保存し、語彙と結び付けたデータベースの構築を目指す。

#### 3. 研究の方法

(1) 渡島半島東岸部と西岸部及びその周辺(青森県を含む)の方言関係資料、漁業関係資料、市町村史等を収集し、そこから伝統的漁業に関連した語彙情報と歴史的、文化的並びに地理的情報を抽出する。

(2) 旧榎法華村及びせたな町在住の元漁師や現役漁師ら漁業経験者を調査協力者として、伝統的漁業に関する聞き取り調査を実施する。

(3) 上記の調査によって得られたデータを編纂し、調査協力者の校閲を経た上で、方言比較語彙集を作成する。

#### 4. 研究成果

(1) 渡島半島東岸部の旧榎法華村(現在函館市)に2回、西岸部のせたな町に3回、合計5回の聞き取り調査を行った。

(2) 両地域で比較可能な147語彙を、生態、漁、漁具、漁法、加工、魚名、魚体部位から成る分類カテゴリー、使用状況(当該語彙の使用の有無)及び意味・用法を項目立てした上で、調査で得られた成果を五十音順の語彙表にした。

(3) この語彙表により、両地域の語彙の比較が容易にできるようになり、共通点と相違点ばかりでなく、新たな情報や興味深い知見を見出すことが可能となった。

たとえば、イカ加工に関わる語彙は、両地域で共通するものが散見される:イカカッゴ、イカノシ、カタサゲ、シボリ、ダルマイカ、ナヤ、ナヤガケ。他方、東岸部の旧榎法華村でのみ使用の確認された語彙がかなりの程度見出された:イカゴロカコー、カップイガ、カナガラ、シャブリイガ、ハセ、ハセガケ、ホガキイガ、ヤリダシ。どちらの地域も明治後期以降からイカ漁で生計を立ててきたが、スルメイカ加工に関しては、西岸部よりも東岸部の方に語彙の豊富な事実が判明した。

タコ漁の漁法についても、違いが観察される。東岸部では、イサリ、イサリヒキ、タコカラヅリ、タコバコ、タルナガシ、ドンツキ、ハイカラ、ハエナワ、ハエナワザル、バツケナワ、ヤスといった実に多彩な漁具を指す語彙が存在するのに対し、西岸部では、シッバリ、タコカギ、タコカゴを数えるのみである。その原因として、タコの棲息する環境、たとえば、潮流、岩場か砂場か、浅い深いの度合いなどの生態的要因が関与している。事実、ハエナワは、調査協力者から、かつて使用したことはあったが、せたなの海ではうまくいかなかったので使われなくなったとの証言を得ている。

(4) 語彙収集の過程で、地元で揚がる魚の名称や指示対象に多様性やずれのあることが分かり、魚名方言語彙の比較研究を行うことができた。たとえば、イカナゴは両地域で漁獲される魚であるが、東岸部ではこの語彙に加えてチリメンが確認されたのみであるのに対して、西岸部では成長段階に応じて、さらに、ナガヨ、モグリが用いられている。また、ヤナギノマイ(和学名)は、東岸部ではモンキゾイと呼ぶのに対して、西岸部ではダッコビと呼称する。東岸部の調査協力者にダッコビについて質問したところ、聞いたことがないとの回答を得た。一方、西岸部の調査協力者にモンキゾイについて尋ねたところ、使用しないとの回答を受けた。

この研究は、さらに、津軽海峡を隔てて隣接する青森県の魚名方言や国を異にするハワイ語の魚名との比較研究に導いてくれ、一定の成果を發表することができた。たとえば、ハワイ語の魚の成長段階の名称は、幼魚段階、中間段階、成魚段階で細かく分類される事例

が多くある。その語構成の中には、幼魚名にのみ付される北海道方言ジャミとハワイ語 'ohua の間に類似性が見出される。従来、言語と言語の比較研究は行われてきたが、本研究プロジェクトは、ある言語の方言と別の言語との比較に興味深い事実を解き明かす可能性のあることを示唆し、方言と言語の比較研究の道を開いたと考えられる。

(5) 両地域の調査協力者の談話録音データを用いて、渡島半島沿岸部に特有の音声現象、特に、入り渡り鼻音と子音の関係にかかわる分析を行うことができた。この録音データは、また、岡山方言のイントネーションの記述研究に目を向けるきっかけを提供してくれた。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 9 件)

- ① 橋本 邦彦、榎法華村における「漁具」、「漁法」、「魚種」、「魚加工」に関連した方言語彙について、室蘭工業大学紀要、査読有、第 64 号、2015、85-97、<http://www.lb.muroran-it.ac.jp/index.html>
- ② 橋本 邦彦、渡島半島西岸部せたな町の漁業方言語彙～東岸部旧榎法華村との比較の視点から～、室蘭工業大学紀要、査読有、第 65 号、2016、41-52、<http://www.lb.muroran-it.ac.jp/index.html>
- ③ 橋本 邦彦、渡島半島東岸部旧榎法華村の漁業方言語彙について～西岸部せたな町との比較の視点から～、北海道言語文化研究、査読有、第 14 号、2016、119-145、<http://www3.muroran-it.ac.jp/hlc/index.html>
- ④ 塩谷 亨、青森県における魚類等の方言名について、北海道言語文化研究、査読有、第 14 号、2016、93-118、<http://www3.muroran-it.ac.jp/hlc/index.html>
- ⑤ 橋本 邦彦、渡島半島東岸部と西岸部における魚名方言語彙の比較、室蘭工業大学紀要、査読有、第 66 号、2017、99-116、<http://www.lb.muroran-it.ac.jp/index.html>
- ⑥ 橋本 邦彦、渡島半島東岸部榎法華村と西岸部せたな町の漁業方言語彙の比較について、北海道言語文化研究、査読有、第 15 号、2017、109-134、<http://www3.muroran-it.ac.jp/hlc/index.html>
- ⑦ 塩谷 亨、ハワイ語における魚の成長段階名称について、北海道言語文化研究、査読有、第 15 号、2017、95-107、<http://www3.muroran-it.ac.jp/hlc/index.html>
- ⑧ 三村 竜之、岡山方言イントネーション

序説、北海道言語文化研究、査読有、第 15 号、2017、135-145、<http://www3.muroran-it.ac.jp/hlc/index.html>

- ⑨ 島田 武、北海道道南方言における入り渡り鼻音に先行される子音について、実験音声学・言語学研究、査読有、第 9 号、2017、55-63、<http://www.jels.info/REPL.html>

〔学会発表〕(計 6 件)

- ① 橋本 邦彦、渡島半島東岸部旧榎法華村の漁業方言語彙～西岸部せたな町との比較の視点から～、北海道言語研究会 12 月例会、室蘭市室蘭工業大学、2015 年 12 月 4 日
- ② 島田 武、せたな方言の音声の特徴について、北海道言語研究会 3 月例会、室蘭市室蘭工業大学、2016 年 3 月 7 日
- ③ 橋本 邦彦、塩谷 亨、島田 武、三村 竜之、渡島半島西岸部せたな町と東岸部旧榎法華村の漁業関連語彙の比較調査について、北海道方言研究会第 217 回例会、札幌市北区民センター、2016 年 4 月 10 日
- ④ 島田 武、北海道道南方言における入り渡り鼻音に先行される子音について、日本実験言語学会第 9 回大会、室蘭市室蘭工業大学、2016 年 9 月 2 日
- ⑤ 三村 竜之、岡山方言のイントネーションの記述に向けて～疑問文イントネーションを中心とした予備的考察～、日本言語学会第 153 回大会ワークショップ「イントネーション研究の新展開」、福岡市福岡大学、2016 年 12 月 4 日
- ⑥ 三村 竜之、岡山方言のイントネーション：初期調査報告、北海道言語研究会 3 月例会、室蘭市室蘭工業大学、2017 年 3 月 2 日

〔その他〕

ホームページ等

<http://www3.muroran-it.ac.jp/hlc/index.html> (北海道言語研究会)

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

橋本 邦彦 (HASHIMOTO, Kunihiko)  
室蘭工業大学・工学研究科・教授  
研究者番号：8 0 1 5 6 2 8 1

### (2) 研究分担者

塩谷 亨 (SHIONOYA Toru)  
室蘭工業大学・工学研究科・教授  
研究者番号：1 0 2 8 1 8 6 7

島田 武 (SHIMADA Takeshi)  
室蘭工業大学・工学研究科・准教授  
研究者番号：9 0 3 2 2 8 7 5

三村 竜之 (MIMURA Tatsuyuki)  
室蘭工業大学・工学研究科・准教授  
研究者番号：00647662